

学校だより

明治3年3月3日創立

立川市立第一小学校

校長 田中 光晴



〈令和7年 1月 31日発行〉

【学校教育目標】

- 自分で考え 行動する子
- 心豊かで 思いやりのある子
- 体をきたえ 元気な子

〒190-0023 立川市柴崎町2丁目20番3号

TEL 042-523-4428

042-522-2114 (あおぞら学級)

FAX 042-529-0840

URL <https://www.tachikawa-edu.jp/es01/>



コミュニティ・スクール「家庭・地域とともに歩む教育活動の推進」

「豊かな心」を育む

副校長 榊原 奈美

今年度も残すところ2か月となりました。寒暖差が激しく、体調を崩しやすい季節ではありますが、校庭からは元気な子供たちの声が響いています。

今月号では、11月に実施しました学校評価アンケートの結果をお知らせします。今年度も、多くのご家庭から貴重なご意見をいただくことができました。設問ごとの結果及び主なご意見やご質問への回答は中面に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

さて、2月2日(日)は節分です。「鬼は外、福は内。」と大きな声で炒り大豆を撒き年の数だけ豆を食べたり、邪気除けとして柗鯛を門口に挿したり、幸運を招く方角を向いて黙って太巻きを丸かじりしたりと、楽しみながら、「一年間健康に過ごせるように」と思いを込めて、日本古来の伝統行事を行うご家庭も多いのではないのでしょうか。

ところで、鬼と言えば、近頃私の心に響くテレビCMがあります。それは、お地蔵様を洗っているおばあさんに出会い、「心の豊かさ」について知りたくなった鬼が旅に出るというものです。さらに、その鬼は旅の途中で少女に出会い、笑顔を作ろうとするものです。(JT企業CMより)このCMを見ていると、心の豊かさを求め、旅をする鬼の様子から、とても温かい気持ちになるとともに、「心の豊かさとは。」と考えさせられます。一般に、「豊かな心」は、命を大切にすること、思いやりの心をもつこと、自然や美しいものに感動すること、理想を目指していること、自分の良さを伸ばしていくこと、自分や他人の良さを尊重し合うことなどと捉えられています。では、「豊かな心」を育むにはどうすればよいのでしょうか。CMに出てくる鬼は、旅に出て人と交流することで心が変化していきます。他人との関わりで心が動き、心が豊かになっていくのだと想像できます。本校では、今年度、学校教育目標の重点目標に「心豊かで思いやりのある子」を掲げ、教育活動を進めてまいりました。各教科・領域(総合的な学習の時間や外国語活動、運動会や音楽会、遠足などの様々な学校行事、委員会やクラブ活動及び学級活動などの特別活動)において、子供たちが関わり合い、自他を認め合い、協力して取り組む活動を展開してきました。1月末に実施しましたなわとび旬間では、友達と一緒に、新しい技や記録に粘り強く挑戦したり、声を掛け合い励まし合ったりする中で、理想を目指す心、自分と友達の良さを尊重し合う心などの様々な心を感じていたようでした。他者と関わることで生まれる「豊かな心」を子供たちは感じてきたのです。

「豊かな心」は、簡単に手に入れられるものではありません。日々の他者との交流や物との関わりを繰り返すことによって育まれていくものです。他者と一緒に考えたり話し合ったり、物を作り上げたりして、互いを認め合って、様々なことを感じることで意欲や充実感につながり、心が豊かになっていきます。本校では、引き続き、他者との交流をより大切に、互いのつながりを深め、豊かな心を育てていきたいと考えます。